

平成 29 年 6 月 27 日

JPA技術講習会のご案内

平成 29 年度『圧入工法技術講習会』福島会場

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

(一社)全国圧入協会は、(一社)建設コンサルタント協会のCPD認定プログラムとして、平成 29 年度『圧入工法技術講習会』福島会場を開講いたします。本年度の技術講習会は、従来の「基礎編」と「施工事例編」を統合し、内容を充実した形で開催します。

主なプログラムは、「圧入工法設計・施工指針」概要、工法選定、さらにインプラント構造としての道路擁壁、堤防・防潮堤、橋梁について、圧入工法が採用となった経緯と施工計画事例を解説します。

圧入工法は、既に圧入された杭をつかみ施工するという原理の優位性から、地中に押し込まれた杭により粘り強い構造物を構築します。東日本大震災から 6 年が経過するなか、復興工事や液状化対策工事等において各所で採用されています。また、圧入工法は砂礫層や岩盤層等の硬質地盤、構造物に近接した場所、水上や傾斜地、橋梁下など様々な現場条件に対応できます。

国土強靱化に不可欠な工法として、皆様の業務に当講習会が活用できれば幸いです。

敬 具

記

- ◇主 催 : (一社)全国圧入協会
- ◇講習会名 : 平成 29 年度『圧入工法技術講習会』福島会場
- ◇開 催 日 : 平成29年7月5日(水) CPDプログラム番号:201705110004 3.5ポイント
- ◇開催時間 : 講習会 13:30~17:00 (受付 13:15~13:30)
- ◇開催場所 : 福島市男女共同参画センター ウイズ・もとまち 大会議室
- ◇申込方法 : 当協会Webサイトの圧入技術講習会からお申込みください。
Webサイト <https://atsunyu.jp/course/>
(初めてご利用の方は、Web利用者登録をお願いします。)
- ◇受講料 : 3,000円 お支払方法は、案内メールにてお知らせします。
※入金後は返金いたしません。
- ◇定 員 : 45名(定員に達し次第締め切ります。)
- ◇申込期限 : 平成29年6月30日(金)
- ◇問合せ先 : (一社)全国圧入協会 事務局 西村・藤岡
Tel. 03-5781-9155 (平日9時~17時、土日・祝祭日除く)
Fax. 03-5781-9156
Email jpa@atsunyu.gr.jp

『圧入工法技術講習会プログラム』

1. 全国圧入協会について
2. 「圧入工法設計・施工指針」解説
3. 工法選定
4. インプラント構造物
 - 4-1 概要
 - 4-2 道路擁壁の事例
 - (1) ジャイロプレス工法による道路擁壁
 - 4-3 堤防・防潮堤の事例
 - (1) 硬質地盤クリア工法による海岸堤防
 - (2) 硬質地盤クリア工法による河川堤防
 - (3) ジャイロプレス工法による海岸堤防・防潮堤
 - (4) 鋼管矢板圧入工法による河川堤防
 - 4-4 橋梁の事例
 - (1) ジャイロプレス工法によるインプラント橋梁
 - (2) 上部障害クリア工法による橋脚耐震補強
 - (3) 鋼管矢板圧入工法による橋脚耐震補強
 - (4) ジャイロプレス工法による橋脚補強
5. 圧入工法による災害復旧・防災技術
6. 積算
7. 圧入原理の学術的探究「国際圧入学会(IPA)」
8. 質疑・応答

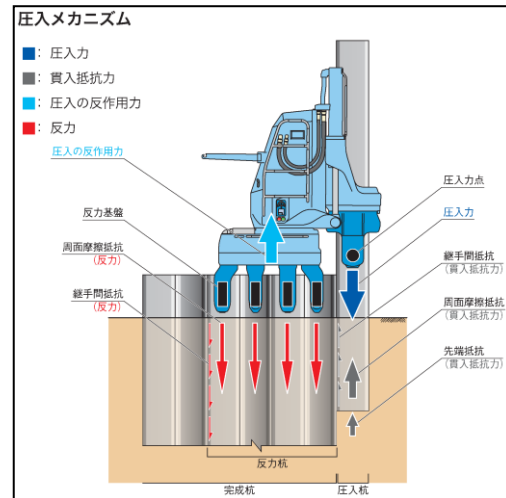
210分

※ 受講された方は、講習会終了後に講習資料（PDFデータ）を
当協会Webサイトからダウンロードできます。

【圧入工法の特長】

圧入工法はすでに打込まれた杭をつかんで、その杭の引抜抵抗力を反力とし、静的荷重で次の杭を地中に押し込む原理である。このため、振動や騒音が許されない市街地、傾斜地や水上施工、重機が入らない狭隘地、道路橋や高压電線など上部に障害のある場所など、多種多様な現場条件を克服できる。

地盤条件によって単独圧入、ウォータージェット併用圧入、オーガ併用圧入、回転切削圧入の貫入技術を選択でき、硬質地盤にも適用範囲は広がっている。さらに、地震や水害などで地盤が緩んでいても、地球と一体化した反力杭をつかんでいる圧入機は転倒の危険性は無く、安全かつ迅速な災害復旧工事を可能とした。



圧入メカニズム



地盤条件による貫入技術



災害復旧や防災・減災工事の施工例

〔会場案内図〕



◇開催会場：福島市男女共同参画センター ウイズ・もとまち 大会議室

〒960-8035 福島市本町2-6

Tel 024-525-3784

〔交通手段〕 JR福島駅より徒歩5分

◇問合せ先：(一社)全国圧入協会 事務局 西村・藤岡

Tel. 03-5781-9155 (平日9時～17時、土日・祝祭日除く)

◇ご用意頂くもの：筆記用具をお持ちください。

以 上